

I 調査概要

- 1 目的：本調査は、新潟県内に住所を有し新潟県ナースセンターに登録している看護職の実態を調査し、未就業看護職の就業を促進することを目的とする
 - 1) 未就業看護職の退職理由と再就職で必要としている内容を把握し、再就職支援のための基礎資料とする
 - 2) 求職者が利用している求人情報・手段についてとナースセンターに希望する内容を把握し、利用しやすい体制構築への基礎資料とする
- 2 調査期間：7月16日～8月16日（回答は7月1日時点）
- 3 調査対象：eナースセンターに登録しており、6月5日時点で「就職活動をしている」と設定している者
- 4 調査方法：1) 調査票の配布はメール送信とし、メールアドレスの登録が無い者（247人）には郵送
2) 回答方法は、基本Web回答とし、調査票の郵送者には返信用封筒での回答も可能とした
- 5 調査対象数：調査対象数2,784人、有効回答数429人（15.4%）（参考：令和5年度調査 13.4%）
（内訳）看護職として就業している 270人（62.9%）
看護職として就業していない 159人（37.1%）

II 結果概要

- 1 未就業者の回答の6割以上を50歳代以上が占めた。（図表8）退職理由は、「定年退職」（11.9%）が最も多く、次いで「家族の介護・看護」（10.1%）、「身体的な健康上の理由」（8.8%）であった。（図表11-1）
- 2 離職期間は、3年未満が5割以上を占めた。年代別でみると、30歳代は他の年代に比べて「5～10年未満」が占める割合が多かった。（図表9-1）その主な退職理由は「結婚・妊娠・出産・育児」（図表11-2）であり、看護職として再就業を希望しない理由は「ブランクが長くて復職が不安」「看護職以外の業種を希望」という回答が多かった。（図表17-2）
- 3 看護職として就業したい理由は、「社会とつながりをもちたい」（56.3%）が最も多く、次いで「収入を得る必要性が生じた」（53.4%）、「やりがいのある仕事だから」（37.9%）と続いた。（図表16）
- 4 再就業の希望条件は、雇用形態では非常勤（71.8%）が最も多く、勤務形態では、日勤で短い勤務時間の希望が多かった。（図表19、20）
- 5 応募する際に利用した方法は、ハローワークと知人からの紹介が主であった。また、ナースセンターを知った経緯は「看護協会のホームページ」が最も多かった。（図表25、図表5）
- 6 今後利用したい求職方法ではハローワークが最も多く、次いでナースセンターであった。（図表26）その理由は、「施設について知りたい情報が提供される」が最も多かった。（図表27）また、ナースセンターの利用手段はメール希望が最も多かった。（図表7）
- 7 再就職支援セミナーの受講について、これまでの参加経験の有無については、「ない」（73.0%）で、参加経験がない理由は、「特に理由はない」（39.7%）が最も多かった。（図表23、図表24）

III 所見

- 1 退職理由は、定年退職が最も多く、それ以外は求職者側の都合による理由であった。求職者側の都合で退職した場合、日勤・短時間で柔軟性のある勤務希望が多い傾向があり、今後も多様な勤務体制が求められると考える。
- 2 子育て世代の退職理由は「結婚・妊娠・出産・育児」が多く、他の年代に比べてブランクの長さが特徴的であった。また、全体の回答より、看護職として復職を希望する理由が「社会とつながりをもちたい」であったことから、退職後の求職者とのつながりを継続し、状況に応じた勤務条件の把握に努め、ブランクを設けずに復職支援をすることが重要だと再認識できた。
- 3 求職者が最も利用している、または今後利用したい求人情報はハローワークであり、今後の利用希望ではナースセンターがハローワークに次いで多かった。これらを希望する理由で最も多かったのは、知りたい情報が提供されることであり、再就職においては特に、条件を含めた求人情報が得られることが必要といえる。
- 4 ナースセンターを知る機会は新潟県看護協会のホームページからが多いため、タイムリーな情報更新や内容の充実を図ることで利用者増加を図りたい。希望する手段はメールが最も多く、自身の都合に合わせてコンタクトがとりやすいためと考えられ、今後も積極的に活用していきたい。
- 5 調査からみえた課題として、新潟県ナースセンターの再就職支援セミナーの受講者を増やすためには、最も多い回答であった「特に理由はない」と回答する者に対して、動機づけをするような働きかけが必要である。

IV 結果詳細

1 回答者 429 人の調査結果

1) 回答者の属性

年代は、50 歳代 (27.3%) が最も多く、次いで 40 歳代 (21.0%)、30 歳代 (17.5%) であった。(図表 1) 居住地は、新潟市 (52.7%) が最も多く、次いで上越市 (12.4%) 長岡市 (10.3%) であった。(図表 2) 経験が長い資格は、看護師 (83.4%) が最も多く、次いで准看護師 (10.7%)、助産師 (3.5%) であった。(図表 3)

また、現在の看護職としての就業については、就業している (62.9%)、就業していない (37.1%) であった。(図表 4)

図表 1 回答率 (年代別)

	全体	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60~64 歳	65~69 歳	70 歳以上
上段：回答数	429	21	75	90	117	63	49	14
下段：割合 (%)	100.0	4.9	17.5	21.0	27.3	14.7	11.4	3.3
未就業者	159	8	19	28	36	29	31	8
	37.1	38.1	25.3	31.1	30.8	46.0	63.3	57.1
就業者	270	13	56	62	81	34	18	6
	62.9	61.9	74.7	68.9	69.2	54.0	36.7	42.9

図表 2 回答率 (市町村別)

市町村	全体	村上市	関川村	粟島浦村	胎内市	新発田市	聖籠町	新潟市	阿賀野市	阿賀町	五泉市
上段：回答数	429	5	0	0	1	10	1	226	4	2	8
下段：割合 (%)	100.0	1.2	0.0	0.0	0.2	2.3	0.2	52.7	0.9	0.5	1.9
		燕市	三条市	弥彦村	加茂市	田上町	見附市	長岡市	出雲崎町	小千谷市	柏崎市
		12	14	2	3	2	2	44	0	1	15
		2.8	3.3	0.5	0.7	0.5	0.5	10.3	0.0	0.2	3.5
		刈羽村	魚沼市	南魚沼市	湯沢町	十日町市	津南町	上越市	妙高市	糸魚川市	佐渡市
		0	8	7	0	3	0	53	3	0	3
		0.0	1.9	1.6	0.0	0.7	0.0	12.4	0.7	0.0	0.7

図表 3 回答率 (資格別)

	全体	保健師	助産師	看護師	准看護師
上段：回答数	429	10	15	358	46
下段：割合 (%)	100.0	2.3	3.5	83.4	10.7

図表 4 就業の有無

	全体	就業している	就業していない
上段：回答数	429	270	159
下段：割合 (%)	100.0	62.9	37.1

2) ナースセンターを知った経緯 (図表 5)

「看護協会のホームページ」(45.5%) が最も多く、次いで、「知り合い等からの紹介」(21.9%)、「ハローワークからの紹介」(21.0%) であった。

図表 5 ナースセンターを知った経緯 (複数回答)

	全体	看護協会のホームページ	県行政のホームページ	ハローワークからの紹介	知り合い等からの紹介	前の職場ですめられた	インターネットの検索	新潟県の SNS	その他	無回答
上段：回答数	429	195	15	90	94	44	55	9	23	5
下段：割合 (%)	100.0	45.5	3.5	21.0	21.9	10.3	12.8	2.1	5.4	1.2

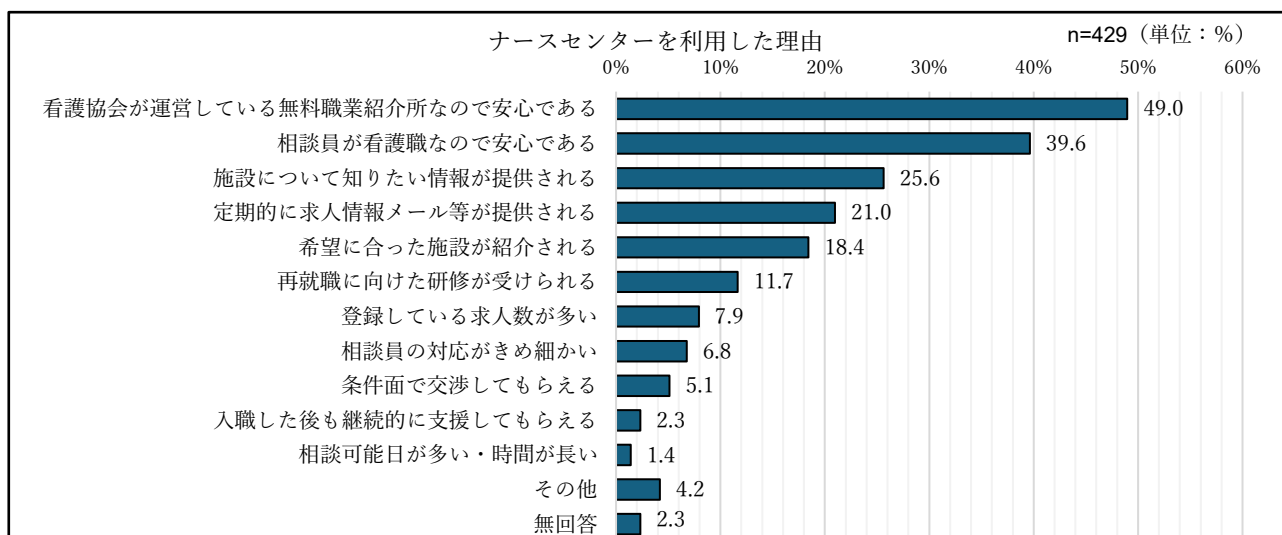
3) ナースセンターの利用理由と今後希望する利用手段

利用理由は、「看護協会が運営している無料職業紹介所なので安心である」(49.0%) が最も多く、次いで「相談員が看護職なので安心である」(39.6%)、「施設について知りたい情報が提供される」(25.6%) であった。(図表 6)

また、希望する利用手段は「メール」(50.3%) が最も多く、次いで「LINE」(48.0%)、「対面」(35.4%) であった。

年代別で多かったのは、30 歳代と 40 歳代で「LINE」、65~69 歳は「電話」、その他は「メール」であった。(図表 7)

図表6 ナースセンターを利用した理由（上位3つまでの複数回答）



図表7 今後希望する利用手段（年代別）（複数回答）

	全体	電話	対面	メール	Zoom	LINE	ショートメール	その他	無回答	
上段：回答数	429	146	152	216	36	206	53	6	9	
下段：割合(%)	(100.0)	(34.0)	(35.4)	(50.3)	(8.4)	(48.0)	(12.4)	(1.4)	(2.1)	
年代別	20歳代	21	4	8	11	1	8	1	1	0
	30歳代	75	23	23	36	9	51	9	0	0
	40歳代	90	24	22	48	10	51	8	1	0
	50歳代	117	45	43	61	11	51	15	2	2
	60～64歳	63	24	31	36	3	21	13	0	1
	65～69歳	49	22	21	19	2	20	4	0	4
70歳以上	14	4	4	5	0	4	3	2	2	

2 未就業看護職員 159 人の調査結果

1) 回答者の属性

年代では、「50歳代」(22.6%)が最も多く、次いで「65～69歳」(19.5%)、「60～64歳」(18.2%)であった。(図表8)

離職期間は、3年未満が(58.5%)を占めた。年代別で最も多かった離職期間は、20歳代と40歳代、60～64歳は、「1年未満」、50歳代と65～69歳は「1～3年未満」、30歳代は「5～10年未満」であった。令和5年度調査と比較すると、今回の調査では「5～10年未満」の割合が多くなっていた。(図表9-1、2)

退職時の施設は、「病院(400床以上)」(19.5%)が最も多く、次いで「病院(199床以下)」(16.4%)、「病院(200～399床以下)」「診療所」(12.6%)であった。(図表10)

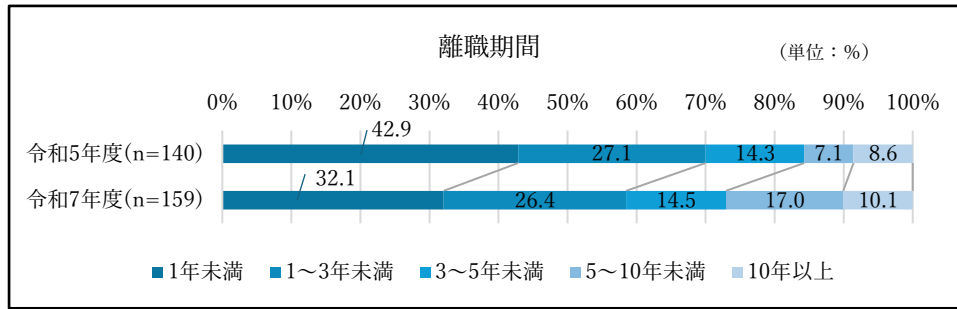
図表8 未就業のみの回答率（年代別）

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
上段：回答数	159	8	19	28	36	29	31	8
下段：割合(%)	100.0	5.0	11.9	17.6	22.6	18.2	19.5	5.0

図表9-1 離職期間（年代別）

	全体	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上
上段：回答数	159	51	42	23	27	16
下段：割合(%)	(100.0)	(32.1)	(26.4)	(14.5)	(17.0)	(10.1)
20歳代	8	7	0	1	0	0
30歳代	19	5	5	1	6	2
40歳代	28	13	6	3	2	4
50歳代	36	8	11	4	9	4
60～64歳	29	12	9	5	2	1
65～69歳	31	6	9	8	6	2
70歳以上	8	0	2	1	2	3

表 9-2 離職期間（令和 5 年度調査との比較）



図表 10 退職時の施設

	全体	病院（199床以下）	病院（200～399床以下）	病院（400床以上）	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設（特養）	通所介護（デイサービス）	その他介護・福祉施設
上段：回答数	159	26	20	31	20	6	9	8	7
下段：割合（%）	100.0	16.4	12.6	19.5	12.6	3.8	5.7	5.0	4.4

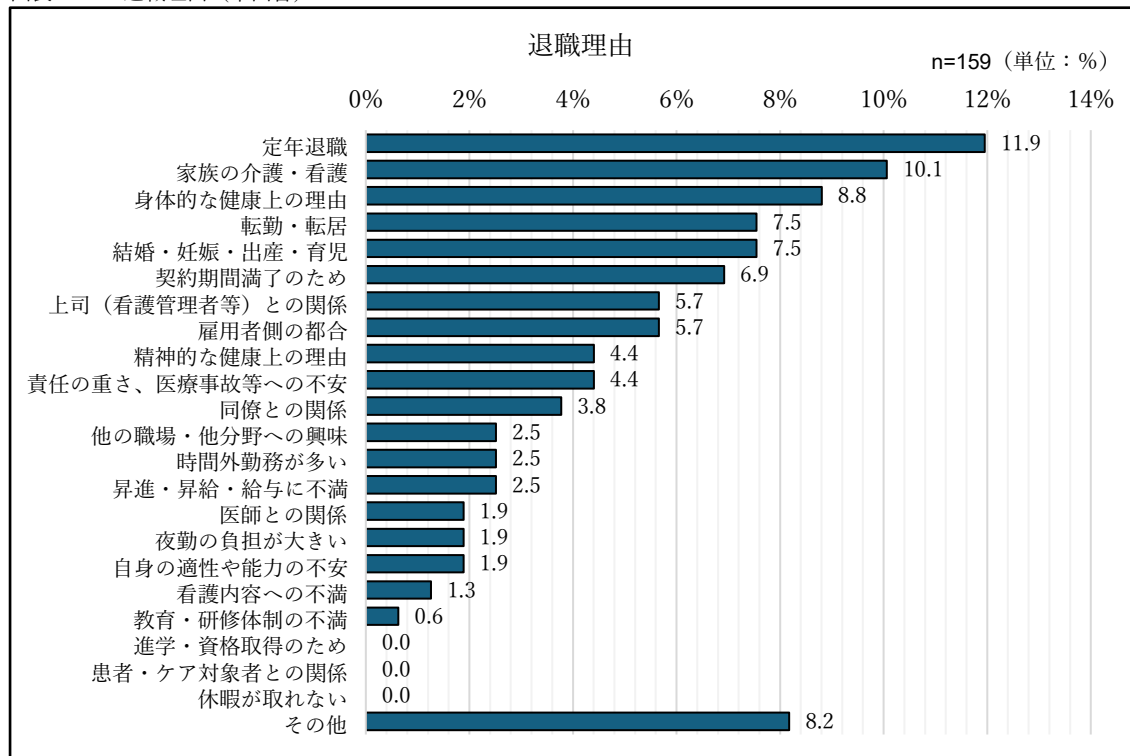
訪問看護ステーション	行政（県・市区村・保健所等）	健診センター	企業・事業所	看護系教育機関	保育施設	小・中・高・特別支援学校	その他
6	8	3	5	2	2	2	4
3.8	5.0	1.9	3.1	1.3	1.3	1.3	2.5

2) 退職理由（図表 11-1、2）

これまでに退職経験のある者の退職理由は、「定年退職」（11.9%）が最も多く、次いで「家族の介護・看護」（10.1%）、「身体的な健康上の理由」（8.8%）であった。

年代別で多かった理由は、20歳代～30歳代は「結婚・妊娠・出産・育児」「転勤・転居」、50歳代は「家族の介護・看護」「身体的な健康上の理由」、60歳～69歳は「定年退職」であった。

図表 11-1 退職理由（単回答）



○その他（自由記載の複数回答抜粋）

- ・孫の育児協力
- ・家庭の事情（家事負担の増加、家族との時間をもちたい）

図表 11-2 退職理由 上位 3 位 (年代別) (単回答)

年代別	1 位	2 位	3 位
20 歳代 (n=8)	結婚・妊娠・出産・育児 (25.0%) /	転勤・転居 (25.0%) /	精神的な健康上の理由 (25.0%)
30 歳代 (n=19)	結婚・妊娠・出産・育児 (31.6%)	転勤・転居 (26.3%)	上司 (看護管理者等) との関係 (15.8%)
40 歳代 (n=28)	転勤・転居 (14.3%)	家族の介護・看護 (10.7%) /	同僚との関係 (10.7%) / 雇用者側の都合 (10.7%)
50 歳代 (n=36)	家族の介護・看護 (16.7%)	身体的な健康上の理由 (13.9%)	雇用者側の都合 (11.1%)
60～64 歳 (n=29)	定年退職 (31.0%)	契約期間満了のため (13.8%)	身体的な健康上の理由 (10.3%)
65～69 歳 (n=31)	定年退職 (25.8%)	家族の介護・看護 (16.1%) / その他 (16.1%)	
70 歳以上 (n=8)	その他 (37.5%)	定年退職 (25.0%) / 契約期間満了のため (25.0%)	
全体 (n=159)	定年退職 (11.9%)	家族の介護・看護 (10.1%)	身体的な健康上の理由 (8.8%)

3) 1 年未満の退職 (以下、早期離職という) 経験の有無と理由

これまでの早期離職経験については、「ない」(66.0%)、「ある」(32.7%)であった。(図表 12)

退職した施設は「通所介護 (デイサービス)」(23.1%) が最も多く、次いで「診療所」(19.2%)、「病院 (199 床以下)」 「病院 (200～399 床以下)」(15.4%) であった。(図表 13)

その退職理由は、「同僚との関係」「その他」(9.6%) が最も多く、次いで「精神的な健康上の理由」「看護内容への不満」「時間外勤務が多い」(7.7%) であった。(図表 14)

図表 12 1 年未満の退職の有無

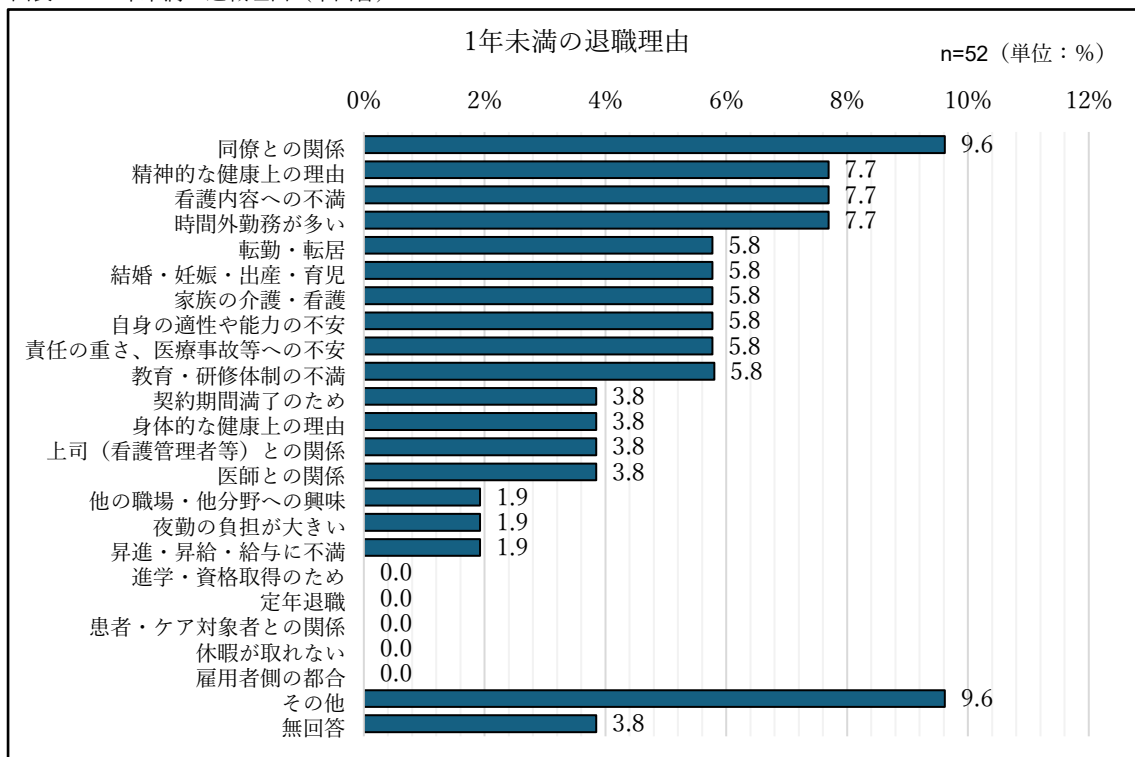
	全体	ある	ない	無回答
上段：回答数	159	52	105	2
下段：割合 (%)	100.0	32.7	66.0	1.3

図表 13 1 年未満の退職経験のある施設 (複数回答)

	全体	病院 (199 床以下)	病院 (200～399 床以下)	病院 (400 床以上)	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設 (特養)	通所介護 (デイサービス)	その他 介護・福祉施設
上段：回答数	52	8	8	6	10	3	5	12	7
下段：割合 (%)	100.0	15.4	15.4	11.5	19.2	5.8	9.6	23.1	13.5

	訪問看護ステーション	行政 (県・市区町村・保健所等)	健診センター	企業・事業所	看護系教育機関	保育施設	小・中・高・特別支援学校	その他
	3	6	2	1	0	1	1	0
	5.8	11.5	3.8	1.9	0.0	1.9	1.9	0.0

図表 14 1 年未満の退職理由 (単回答)



○その他 (自由記載の複数回答抜粋)

- ・通勤距離が難しい
- ・パワハラ

4) 今後の看護職としての就業希望とその理由

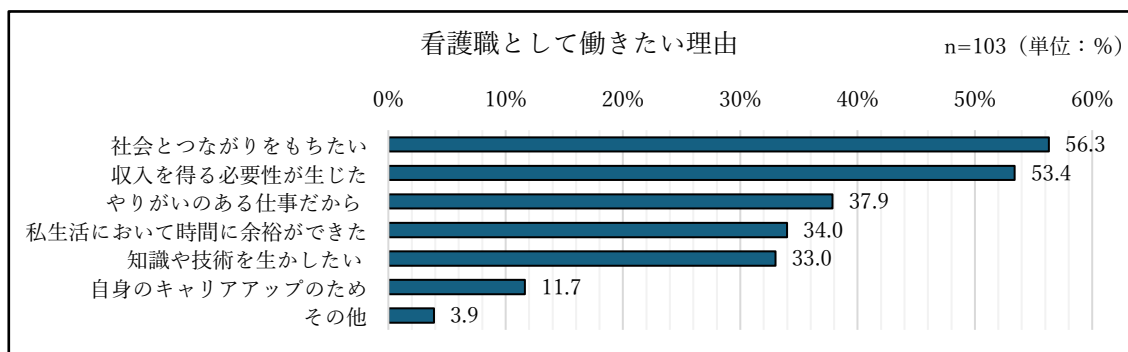
今後の看護職としての再就職希望は、64歳以下では、「就業希望あり」のほうが多く、65歳以上では「就業希望なし」が多かった。(図表 15)

看護職として就業希望ありの理由は、「社会とつながりをもちたい」(56.3%)が最も多く、次いで「収入を得る必要性が生じた」(53.4%)、「やりがいのある仕事だから」(37.9%)と続いた。(図表 16)

図表 15 今後の就業希望 (年代別)

		全体	すぐに就業したい	1年以内に就業したい	いずれ就業したい (1年以上後)	就業の希望なし	無回答
上段：回答数		159	23	45	35	55	1
下段：割合(%)		(100.0)	(14.5)	(28.3)	(22.0)	(34.6)	(0.6)
年代別	20歳代	8	1	4	0	3	0
	30歳代	19	2	4	8	5	0
	40歳代	28	8	13	4	3	0
	50歳代	36	7	11	13	5	0
	60～64歳	29	2	9	5	12	1
	65～69歳	31	2	2	5	22	0
	70歳以上	8	1	2	0	5	0

図表 16 看護職として働きたい理由 (複数回答)

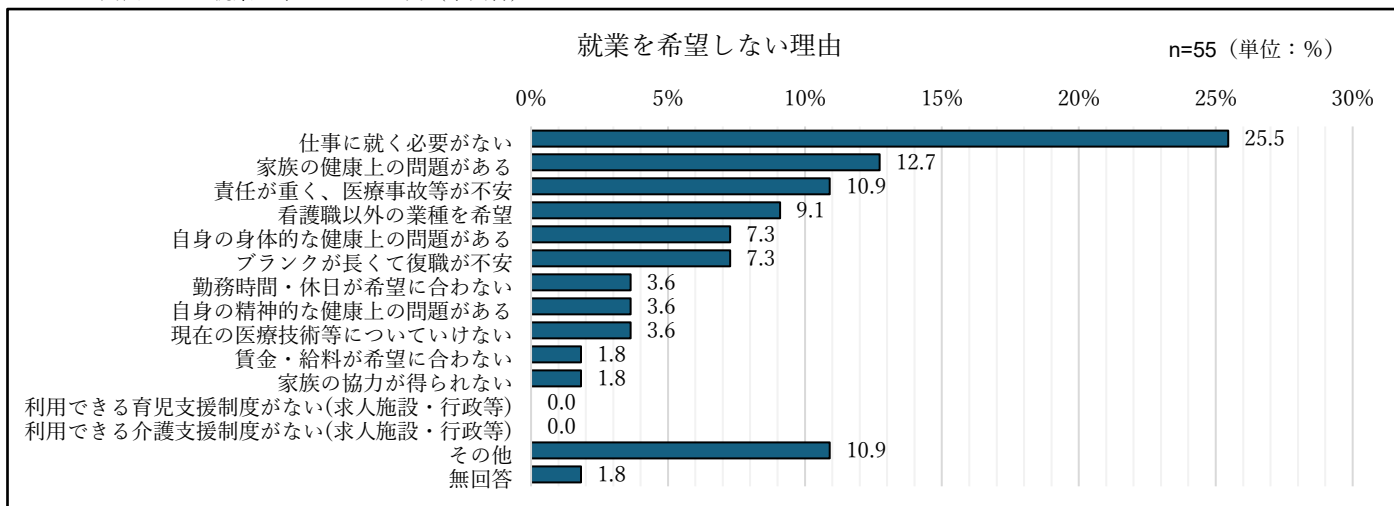


5) 看護職として就業希望のない理由

今後の就業希望のない理由は、「仕事に就く必要がない」(25.5%)が最も多く、次いで「家族の健康上の問題がある」(12.7%)、「責任が重く、医療事故等が不安」(10.9%)であった。(図表 17-1)

年代別で多かった理由は「その他」を除くと、20歳代は「責任が重く、医療事故等が不安」、30歳代は「ブランクが長くて復職が不安」、「看護職以外の業種を希望」、50歳代は「自身の精神的な健康上の問題がある」「看護職以外の業種を希望」、60～69歳は「仕事に就く必要がない」であった。(図表 17-2)

図表 17-1 就業を希望しない理由 (単回答)



○その他 (自由記載の複数回答抜粋)

・高齢のため

図表 17-2 就業を希望しない理由（年代別）（単回答）

	全体	賃金・給料が希望に合わない	勤務時間・休日が希望に合わない	自身の身体的な健康上の問題がある	自身の精神的な健康上の問題がある	家族の健康上の問題がある	利用できる育児支援制度がない（求人施設・行政等）	利用できる介護支援制度がない（求人施設・行政等）
上段：回答数 下段：割合（%）	55 (100.0)	1 (1.8)	2 (3.6)	4 (7.3)	2 (3.6)	7 (12.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
年代別	20歳代	3	0	0	0	0	0	0
	30歳代	5	0	0	0	0	0	0
	40歳代	3	1	1	0	0	0	0
	50歳代	5	0	0	0	2	1	0
	60～64歳	12	0	0	1	0	2	0
	65～69歳	22	0	1	3	0	4	0
	70歳以上	5	0	0	0	0	0	0

家族の協力が得られない	ブランクが長くて復職が不安	現在の医療技術等についていけない	仕事に就く必要がない	責任が重く、医療事故が不安	看護職以外の業種を希望	その他	無回答
1 (1.8)	4 (7.3)	2 (3.6)	14 (25.5)	6 (10.9)	5 (9.1)	6 (10.9)	1 (1.8)
0	0	0	0	2	0	1	0
1	2	0	0	0	2	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0
0	0	0	0	0	2	0	0
0	0	1	3	3	0	2	0
0	2	1	10	0	0	0	1
0	0	0	1	0	1	3	0

6) 再就業で希望する条件

- 施設は「健診センター」(38.8%)が最も多く、次いで「通所介護(デイサービス)」(35.9%)、「診療所」(33.0%)であった。(図表 18)
- 雇用形態は「非常勤」(71.8%)が最も多く、年代別で多かった勤務形態は、30歳代と65～70歳代以上は、「日勤のみ(4h未満)」、40歳代～64歳までは「日勤のみ(4h～6h)」が多かった。
夜勤希望は20歳代と40歳代でみられ、全員が二交代制を希望した。(図表 19、20)
- 給与額はそれぞれ、月額「20～25万円未満」「25～30万円未満」、日給「1万円以上」、時間給「1500～2000円未満」がそれぞれ最も多かった。(図表 21-1、2、3) 令和5年度調査と希望額を比較しても大きな変化はなかった。
- 再就職の際に重視する条件は、「職場の雰囲気や人間関係がよい」(59.2%)が最も多く、次いで「勤務時間・日数に柔軟性がある」(55.3%)、「通勤が便利」(50.5%)であった。(図表 22-1、2)

図表 18 希望する施設（複数回答）

	全体	急性期病院	慢性期病院	療養型病院	精神科病院	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設(特養)	通所介護(デイサービス)	その他介護・福祉施設
上段：回答数	103	5	18	18	5	34	20	17	37	17
下段：割合(%)	100.0	4.9	17.5	17.5	4.9	33.0	19.4	16.5	35.9	16.5

訪問看護ステーション	行政(県・市区町村・保健所等)	健診センター	企業・事業所(産業)	看護系教育機関	保育施設	小・中・高・特別支援学校	その他
9	31	40	21	11	14	7	4
8.7	30.1	38.8	20.4	10.7	13.6	6.8	3.9

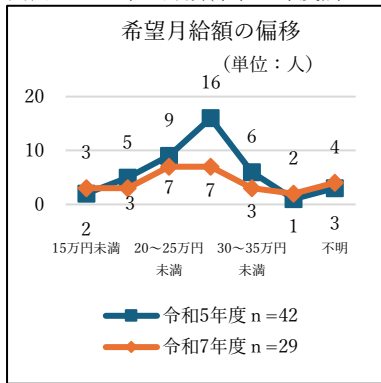
図表 19 希望する雇用形態（単回答）

	全体	常勤 (正規雇用)	常勤 (非正規のフルタイム)	非常勤 (短時間パートタイム)	臨時 (短期・単発等)	
上段：回答数	103	18	4	74	7	
下段：割合(%)	(100.0)	(17.5)	(3.9)	(71.8)	(6.8)	
年代別	20歳代	5	5	0	0	0
	30歳代	14	1	0	13	0
	40歳代	25	7	2	15	1
	50歳代	31	4	0	24	3
	60～64歳	16	1	2	12	1
	65～69歳	9	0	0	7	2
	70歳以上	3	0	0	3	0

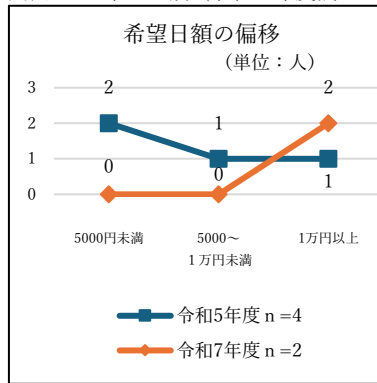
図表 20 希望する勤務形態（単回答）

	全体	二交代	三交代	夜勤のみ	日勤のみ (フルタイム)	日勤のみ (4h未満)	日勤のみ (4h～6h)	日勤+ オンコール	その他
上段：回答数	103	4	0	0	18	29	50	0	2
下段：割合(%)	(100.0)	(3.9)	(0.0)	(0.0)	(17.5)	(28.2)	(48.5)	(0.0)	(1.9)
年代別	20歳代	5	2	0	0	3	0	0	0
	30歳代	14	0	0	0	1	7	6	0
	40歳代	25	2	0	0	8	1	14	0
	50歳代	31	0	0	0	3	11	15	2
	60～64歳	16	0	0	0	3	3	10	0
	65～69歳	9	0	0	0	0	5	4	0
	70歳以上	3	0	0	0	0	2	1	0

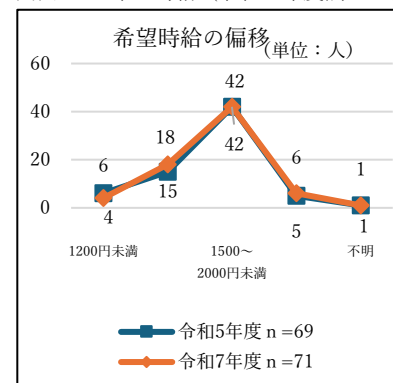
図表 21-1 希望月額（令和5年度調査比較）



図表 21-2 希望日額（令和5年度調査比較）

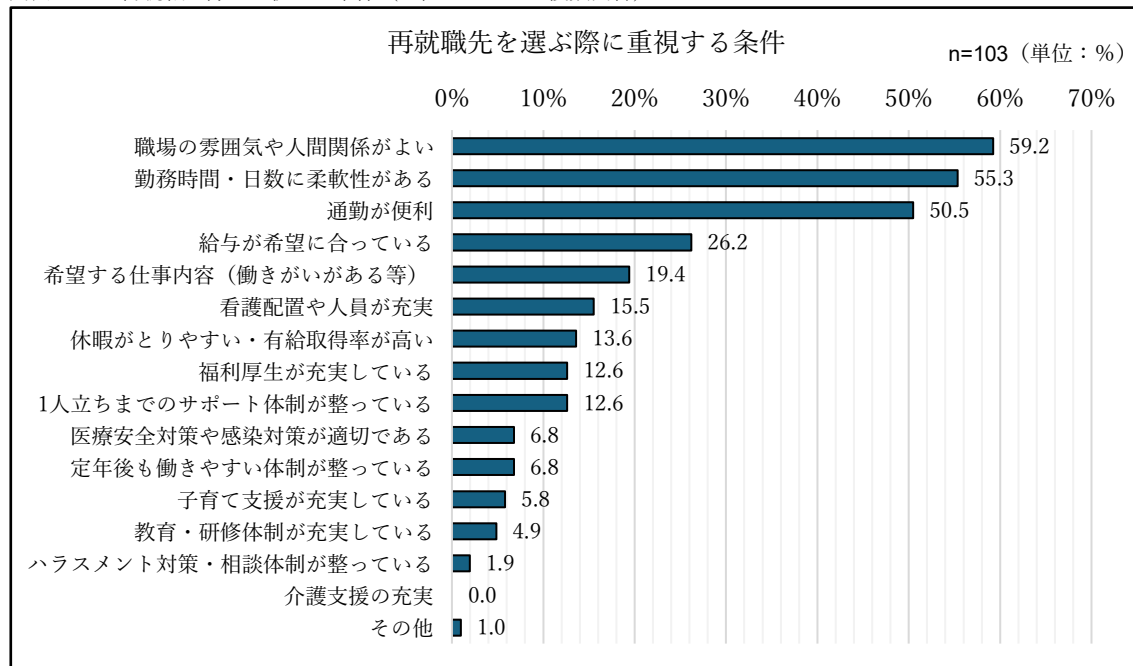


図表 21-3 希望時給（令和5年度調査比較）



※図表 21-1,2,3：令和7年度は未回答者1名

図表 22-1 再就職の際に重視する条件（上位3つまでの複数回答）



図表 22-2 再就職の際に重視する条件 上位3位（年代別）（上位3つまでの複数回答）

年代別	1位	2位	3位
20歳代 (n=5)	給与が希望に合っている (60.0%) / 看護配置や人員が充実 (60.0%)		勤務時間・日数に柔軟性がある / 福利厚生が充実している / 職場の雰囲気や人間関係がよい(全て 40.0%)
30歳代 (n=14)	勤務時間・日数に柔軟性がある (85.7%)	給与が希望に合っている (50.0%)	職場の雰囲気や人間関係がよい (42.9%)
40歳代 (n=25)	職場の雰囲気や人間関係がよい (64.0%)	通勤が便利 (52.0%)	勤務時間・日数に柔軟性がある (44.0%)
50歳代 (n=31)	通勤が便利 (51.6%) / 職場の雰囲気や人間関係がよい (51.6%)		勤務時間・日数に柔軟性がある (45.2%)
60～64歳 (n=16)	職場の雰囲気や人間関係がよい (81.3%)	通勤が便利 (75.0%)	勤務時間・日数に柔軟性がある (62.5%)
65～69歳 (n=9)	職場の雰囲気や人間関係がよい (88.9%)	勤務時間・日数に柔軟性がある (77.8%)	通勤が便利 (44.4%)
70歳以上 (n=3)	通勤が便利 (100.0%)	勤務時間・日数に柔軟性がある / 福利厚生が充実している / 希望する仕事内容（働きがいがある等） / 看護配置や人員が充実 / 教育・研修体制が充実している / 医療安全対策や感染対策が適切である (全て 33.3%)	
全体 (n=103)	職場の雰囲気や人間関係がよい (59.2%)	勤務時間・日数に柔軟性がある (55.3%)	通勤が便利 (50.5%)

7) 新潟県ナースセンターの再就職支援セミナーについて

これまでの参加経験の有無については、「ない」(73.0%)、「ある」(25.8%)であった。(図表 23)
 参加経験がない理由は、「特に理由はない」(39.7%)が最も多く、次いで「日程が合わない(自身・家庭の都合)」(18.1%)、「開催していることを知らなかった」(12.9%)であった。(図表 24)

図表 23 再就職支援セミナーの参加経験の有無

	全体	ある	ない	無回答	
上段：回答数	159	41	116	2	
下段：割合(%)	(100.0)	(25.8)	(73.0)	(1.3)	
年代別	20歳代	8	1	7	0
	30歳代	19	5	14	0
	40歳代	28	7	21	0
	50歳代	36	14	22	0
	60～64歳	29	10	19	0
	65～69歳	31	4	26	1
	70歳以上	8	0	7	1

図表 24 参加したことがない理由（単回答）

	全体	開催場所へのアクセスが悪い	開催回数が少ない	日程が合わない(自身・家庭の都合)	テーマに関心がない	復職へのブランク期間が長い	開催していることを知らなかった	研修を受ける必要がない	特に理由はない	その他	
上段：回答数	116	6	1	21	1	11	15	10	46	5	
下段：割合(%)	(100.0)	(5.2)	(0.9)	(18.1)	(0.9)	(9.5)	(12.9)	(8.6)	(39.7)	(4.3)	
年代別	20歳代	7	1	0	1	0	1	2	0	2	0
	30歳代	14	0	0	2	0	2	3	0	7	0
	40歳代	21	4	0	3	1	2	0	1	9	1
	50歳代	22	1	0	5	0	2	3	1	8	2
	60～64歳	19	0	0	7	0	0	1	2	9	0
	65～69歳	26	0	0	3	0	4	4	4	10	1
	70歳以上	7	0	1	0	0	0	2	2	1	1
医療圏域別	下越	4	0	0	0	0	0	2	0	2	0
	新潟	63	1	0	12	0	8	10	3	27	2
	県央	10	1	1	1	0	1	2	0	3	1
	中越	16	2	0	5	1	1	0	2	5	0
	魚沼	5	0	0	1	0	0	0	3	0	1
	上越	18	2	0	2	0	1	1	2	9	1
	佐渡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8) これまでに利用したことのある求職方法と今後利用したい求職方法とその理由

退職した施設を応募する際に利用した方法は、「ハローワーク」「知り合い等からの紹介」(27.7%)が最も多く、次いで「その他」(16.4%)であった。(図表 25)

また、今後利用したい方法は「ハローワーク」(69.8%)が最も多く、次いで「ナースセンター」(69.2%)、「知り合い等からの紹介」(25.2%)であった。年代別にみると、20歳代、60～69歳はナースセンター

希望が最も多かった。(図表 26)

利用したい理由は「施設について知りたい情報が提供される」(37.1%)が最も多く、次いで「コンタクトをとりやすい」(34.0%)、「登録している求人数が多い」(28.3%)であった。(図表 27)

図表 25 退職した施設を応募する際に利用した方法(複数回答)

	全体	ナースセンター	ハローワーク	民間の職業紹介会社	知り合い等からの紹介	求人施設等のホームページ	求人広告・求人情報誌	就職ガイダンスや就職フェア等への参加	施設等の見学・体験の受け入れ	その他	無回答
上段: 回答数	159	17	44	14	44	10	10	5	13	26	3
下段: 割合(%)	(100.0)	(10.7)	(27.7)	(8.8)	(27.7)	(6.3)	(6.3)	(3.1)	(8.2)	(16.4)	(1.9)
年代別	20歳代	8	1	1	1	0	0	0	3	1	0
	30歳代	19	4	4	4	2	2	0	5	2	0
	40歳代	28	3	10	4	3	2	1	5	4	0
	50歳代	36	4	12	4	8	5	4	0	6	1
	60~64歳	29	2	8	1	10	0	5	1	0	5
	65~69歳	31	2	8	0	17	0	0	0	7	1
	70歳以上	8	1	1	0	3	1	0	0	1	1

○その他(自由記載の複数回答抜粋)

- ・自分で探し、直接連絡した
- ・学校卒業後の新卒採用

図表 26 今後利用したい方法(上位3つまでの複数回答)

	全体	ナースセンター	ハローワーク	民間の職業紹介会社	知り合い等からの紹介	求人施設等のホームページ	求人広告・求人情報誌	就職ガイダンスや就職フェア等への参加	施設等の見学・体験の受け入れ	その他	無回答
上段: 回答数	159	110	111	34	40	19	24	10	19	8	5
下段: 割合(%)	(100.0)	(69.2)	(69.8)	(21.4)	(25.2)	(11.9)	(15.1)	(6.3)	(11.9)	(5.0)	(3.1)
年代別	20歳代	8	6	5	0	1	2	1	2	2	1
	30歳代	19	12	14	8	4	3	3	1	3	1
	40歳代	28	22	23	8	7	4	3	1	3	0
	50歳代	36	25	30	11	8	3	7	3	4	0
	60~64歳	29	20	19	2	7	3	8	2	4	2
	65~69歳	31	22	17	5	13	4	2	1	3	2
	70歳以上	8	3	3	0	0	0	0	0	0	2

○その他(自由記載の複数回答抜粋)

- ・看護師としての就業希望なし

図表 27 今後利用したいと考える理由(上位3つまでの複数回答)

年代別	1位	2位	3位
20歳代 (n=8)	コンタクトをとりやすい (62.5%)	相談員が看護職なので安心である (37.5%)	その他 (25.0%)
30歳代 (n=19)	コンタクトをとりやすい (47.4%) / 施設について知りたい情報が提供される (47.4%)		登録している求人数が多い (31.6%) / 希望に合った施設が紹介される (31.6%)
40歳代 (n=28)	コンタクトをとりやすい (42.9%)	施設について知りたい情報が提供される (39.3%)	希望に合った施設が紹介される (32.1%)
50歳代 (n=36)	施設について知りたい情報が提供される (41.7%)	登録している求人数が多い (38.9%)	コンタクトをとりやすい (30.6%) / 定期的に求人情報メール等が提供される (30.6%)
60~64歳 (n=29)	登録している求人数が多い (31.0%) / 施設について知りたい情報が提供される (31.0%)		登録している求人数が多い (32.3%)
65~69歳 (n=31)	施設について知りたい情報が提供される (38.7%)	相談員が看護職なので安心である (35.5%)	
70歳以上 (n=8)	コンタクトをとりやすい (25.0%) / 無回答 (25.0%)	施設について知りたい情報が提供される (25.0%)	その他 (25.0%) /
全体 (n=159)	施設について知りたい情報が提供される (37.1%)	コンタクトをとりやすい (34.0%)	登録している求人数が多い (28.3%)

○その他(自由記載の複数回答抜粋)

- ・看護師としての就業希望なし